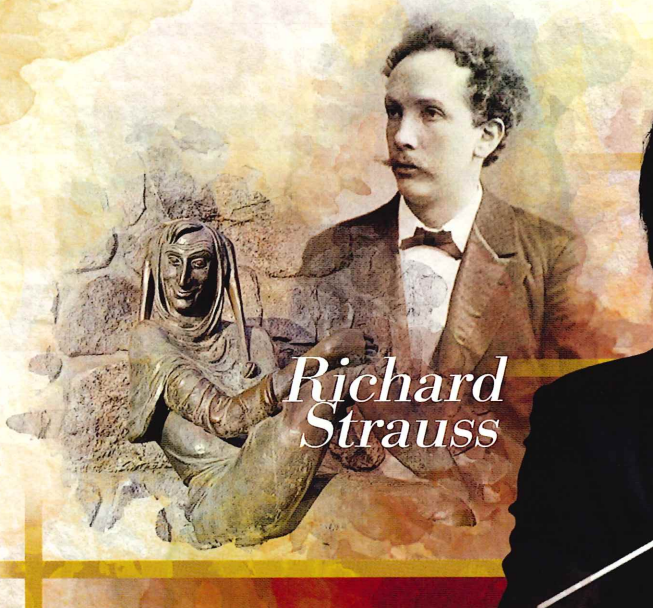


第283回

日本センチュリー交響楽団 定期演奏会



Richard Strauss



[指揮]
飯森範親
Norichika Iimori



[ヴァイオリン]
マルク・ブシュコフ
Marc Bouchkov

飯森の真骨頂、リヒャルト・シュトラウス
世界が認める才能・ブシュコフのチャイコフスキー



日本センチュリー交響楽団
Japan Century Symphony Orchestra

Program

チャイコフスキー

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35

P.I. Tchaikovsky : Concerto for Violin and Orchestra in D major, Op. 35

R. シュトラウス

交響詩

「テイル・オイレンシュピーゲルの
愉快ないたずら」作品28

R. Strauss : Till Eulenspiegels lustige Streiche, Op. 28

R. シュトラウス

交響詩「死と変容」作品24

R. Strauss : Tod und Verklärung, Op. 24

2024 **8/2** [金] 開演 19:00
(開場 18:00)

ザ・シンフォニーホール

ご予約お問合せ センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311 [平日10:00~18:00]
<https://www.jcso.or.jp/ticket/>

※未就学児童の入場不可。※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



送迎バス 学生年間パス
対象公演

■スペシャルスポンサー
地主株式会社 JINUSHI Co., Ltd. 旭酒造株式会社

■フレンドシップパートナー
GAMBA OSAKA

[主催] 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

[助成] 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会

■オフィシャルスポンサー
栄光ホールディングス株式会社 / MK MKビルド / 株式会社エムズ住建設 / ONKYO / KANEKA / 共栄法律事務所 / KINCHO / TheSymphonyHall
新コスモス電機株式会社 / S Shadów / TCG 高松コンストラクショングループ / TAKUMA / TOYO TIRES / Hankyu / THE HILTON PLAZA / 三井住友信託銀行

日本センチュリー交響楽団 第283回定期演奏会

絢爛豪華なチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲から華やかな公演の幕明けです。ソリストにはチャイコフスキー国際コンクール第2位受賞など、世界的に大きな注目を集めるマルク・ブシュコフを迎えます。ロマンチズム溢れる美しい旋律と華麗なオーケストレーションによる名曲をお楽しみください。そして交響詩とオペラを数多く残したリヒャルト・シュトラウスの作品から2曲。「ティル・オイレンシュピーゲル」はドイツに実在したというたぐら好きな奇人の物語に音楽をつけたユニークで表情豊かな音楽が繰り広げられます。「死と変容」は病と闘いながら自らの人生を回してやがて天に召されてゆくという物語に基づく作品。飯森マエストロ×センチュリーによる精緻で瑞々しいサウンドでお届けいたします。

指揮 飯森範親

Norichika Iimori, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、1994年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。1996年、東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。2003年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。2006年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、ブラハ響などに客演を重ねる。2001年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。2006年の日本ツアーを成功に導き、2017年5月にはミュンヘンのヘルクスザールを始めドイツ国内のツアーにて指揮。同年9月にはポーランドのオルシティン・フィルのシーズン開幕を指揮し成功を収めている。2007年から山形交響楽団の音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げたことで2011年齋藤茂吉文化賞を受賞。また、オペラでも高い評価を得ており、2024年は新国立劇場「コジ・ファン・トゥッテ」、藤原歌劇団創立90周年記念公演「ピーア・デ・トロメイ」への出演が予定されている。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。



©山岸 伸

◆オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

ヴァイオリン マルク・ブシュコフ

Marc Bouchkov, Violin

ロシアとウクライナの血を引くベルギー人。祖父からヴァイオリンの手ほどきを受ける。その後C.ベルナル、B.ガルリツキー、クロンベルク・アカデミーではM.マルティンに師事。2018年からはE.ウルフソンの音楽指導を受けている。主なオーケストラとの共演として、hr響(指揮:C.エッセンバッハ)、ロイヤル・コンサートヘボウ管(指揮:M.ヤンソンス)、ミュンヘン・フィル(指揮:P.ジョーダン)などがあげられる。



©Nikolaj Lund

2021年、オランダ・フィル管との共演が評価され、2022/23年シーズン同楽団の「アーティスト・イン・レジデンス」の招待を受け、2023年L.ヴィオッティ指揮の下、ミラノ・スカラ座デビューを果たした。同年7月にはヴェルビエ音楽祭でピアニストの藤田真央とベートーヴェンの「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ」を全曲演奏し好評を博す。これまでに、モントリオール国際コンクール優勝、2019年チャイコフスキー国際コンクール銀賞を受賞。イザイの世界初演の作品2曲と、自身作曲による作品2曲を含むデビューCDは「Diapason d'Or」を受賞している。現在、リエージュ・ロワイヤル音楽院で教授を務める。

管弦楽 日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra 街に響く。心に届く。



1989年に活動を開始し、大阪府・豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者(2025年4月より音楽監督就任予定)を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズと2拠点で定期的な演奏会を開催。

オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。2024年12月に楽団創立35周年を迎える。

◆オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>



チケット情報

S席 ¥8,000

サイン入り
プログラム付き

A席 ¥6,500

B席 ¥5,000

C席 ¥3,500

D席 ¥2,000

センチュリー・チケットサービス

☎06-6848-3311

[平日10:00~18:00]

日本センチュリー 検索

<https://www.jcso.or.jp/ticket/>



◆ザ・シンフォニーチケットセンター ☎06-6453-2333 (11:00~16:00火曜休)

◆チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード259-476]

◆ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード56342] ◆イープラス <https://eplus.jp/>

次回
定期演奏会

第284回定期演奏会 2024 9/21(土) [14:00開演]

6/19[水]発売

◎指揮/太田弦 ◎ヴァイオリン/前田妃奈 ◎曲目/ブルッフ:スコットランド幻想曲、ウォルトン:交響曲 第1番

※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる可能性がございます。予めご了承ください。
※未就学児入場不可